

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年8月2日

上場取引所 大

上場会社名 エヌアイシ・オートテック株式会社
 コード番号 5742 URL <http://www.nic-inc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西川浩司
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 藤井透

TEL 076-425-0738

四半期報告書提出予定日 平成23年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,233	99.7	26	—	27	—	15	—
23年3月期第1四半期	617	14.3	△57	—	△55	—	△34	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	289.08	—
23年3月期第1四半期	△635.95	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	5,799	2,859	49.3
23年3月期	5,495	2,886	52.5

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 2,859百万円 23年3月期 2,886百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	800.00	800.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	800.00	800.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,430	144.5	122	—	123	—	67	—	1,243.03
通期	5,485	9.9	109	30.8	111	18.7	61	30.8	1,126.96

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	55,000 株	23年3月期	55,000 株
24年3月期1Q	511 株	23年3月期	511 株
24年3月期1Q	54,489 株	23年3月期1Q	54,489 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「経営成績に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する定性的情報	2
（2）財政状態に関する定性的情報	3
（3）業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
（1）四半期貸借対照表	5
（2）四半期損益計算書	7
（3）四半期キャッシュ・フロー計算書	8
（4）継続企業の前提に関する注記	9
（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
5. 補足情報	10
（1）生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、本年3月11日に発生した東日本大震災の影響によって、経済活動全般にわたり停滞を余儀なくされました。震災の直接被害を受けた東日本の産業のみならず、被害を受けたサプライチェーンの影響による製造業の生産量低下や、震災による自粛ムードも広がり、さらには原発事故に端を発した電力不足等も加わり、日本全土に経済的、社会的に深刻な影響を及ぼすこととなりました。

当社はこのような状況の下、アルファフレーム部門の売上高は前年同期と比べ微増にとどまったものの、装置部門及び商事部門の売上高は前年同期より大幅な増加となりました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は、1,233百万円（前年同期比99.7%増）となりました。利益面につきましては、営業利益は26百万円（前年同期は57百万円の営業損失）、経常利益は27百万円（前年同期は55百万円の経常損失）、四半期純利益は15百万円（前年同期は34百万円の四半期純損失）となりました。

当第1四半期累計期間における各セグメントの状況は、次のとおりであります。

[アルファフレーム部門]

アルファフレーム部門におきましては、「カクチャ™」及び「マーキングシステム™」の支援ソリューション提案活動を全国展開するとともに、当社の技術力を活かした設計最適化を提案することにより、当部門の売上拡大を図っております。

当第1四半期におきましては、市場における価格競争激化の影響もあり、売上高を大幅に増加させる状況には至っておりませんが、販促の過程におきまして、当社製品の品質やこれを裏付ける技術が顧客から再認識され高い評価を得ており、他社では技術的に対応困難な案件の引き合いが増えてきております。これらの案件にお応えすべく高付加価値物件の開発設計に取り組み、営業と技術が一体となって販売力を強化しております。

この結果、当部門の売上高は312百万円（前年同期比3.5%増）となりました。

[装置部門]

装置部門におきましては、前事業年度から受注が続いている海外向けフラットパネルディスプレイ製造装置用カスタムクリーンブースや自動車部品向け小型洗浄装置の売上や、自動車部品製造関連企業向け及び薬品製造企業向けのFA装置案件の売上があり、さらに東日本大震災によって被災した企業より、生産設備の復旧需要に伴った引き合いが増加したクリーンブース関連設備等によって、売上高が大きく伸びました。

この結果、当部門の売上高は668百万円（前年同期比296.3%増）となりました。

[商事部門]

商事部門におきましては、工業用砥石、油脂類、工具・ツール等の消耗品の売上が堅調だったことに加え、機械部品製造企業向けの機械設備の大型案件の効果があり、売上高は前年同期に比べ大幅に増加いたしました。

この結果、当部門の売上高は252百万円（前年同期比71.6%増）となりました。

（2）財政状態に関する定性的情報

① 資産・負債・純資産の状況

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ303百万円増加し5,799百万円となりました。これは主に、大型装置案件の受注及び売上計上により、受取手形及び売掛金が242百万円、仕掛品が107百万円、それぞれ増加した一方で、仕入支払い等により、現金及び預金が22百万円減少したことなどによります。

負債は、前事業年度末に比べ331百万円増加し2,940百万円となりました。これは主に、大型装置案件にかかる仕入増加により、支払手形及び買掛金が315百万円増加したことなどによります。

純資産は、前事業年度末に比べ27百万円減少し2,859百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上があったものの、配当金の支払いが発生したことにより、利益剰余金が27百万円減少したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比べ22百万円減少し、262百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期累計期間の52百万円のキャッシュ・アウトに対し、当四半期累計期間は28百万円のキャッシュ・インとなりました。これは、売上債権の増減による資金の減少額245百万円やたな卸資産の増減による資金の減少額44百万円などの資金の減少があった一方で、仕入債務の増減による資金の増加額308百万円や税引前四半期純利益の増減による資金の増加額83百万円などの資金の増加があったことが主な要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期累計期間の11百万円のキャッシュ・アウトに対し、当四半期累計期間は12百万円のキャッシュ・アウトとなり、大きな増減はありません。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期累計期間の34百万円のキャッシュ・アウトに対し、当四半期累計期間は38百万円のキャッシュ・アウトとなり、いずれも配当金の支払いによるキャッシュ・アウトのみとなっております。

（3）業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成23年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

※ 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

イ. 棚卸資産の評価方法

当第1四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

ロ. 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	288,885	266,856
受取手形及び売掛金	2,941,176	3,183,960
商品及び製品	134,704	136,274
仕掛品	141,208	248,988
原材料及び貯蔵品	229,950	238,717
その他	71,702	57,182
貸倒引当金	△266	△296
流動資産合計	3,807,360	4,131,682
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,442,449	1,442,449
減価償却累計額	△847,052	△855,945
建物（純額）	595,396	586,503
土地	456,904	456,904
その他	589,782	568,727
減価償却累計額	△437,404	△436,108
その他（純額）	152,378	132,618
有形固定資産合計	1,204,680	1,176,027
無形固定資産	24,592	23,832
投資その他の資産		
その他	460,208	469,139
貸倒引当金	△1,500	△1,500
投資その他の資産合計	458,708	467,639
固定資産合計	1,687,980	1,667,499
資産合計	5,495,341	5,799,181
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,313,690	2,629,405
未払法人税等	9,201	3,701
製品保証引当金	5,281	8,911
賞与引当金	39,299	19,596
その他	83,677	124,765
流動負債合計	2,451,151	2,786,380
固定負債		
退職給付引当金	122,357	125,401
その他	35,463	28,307
固定負債合計	157,821	153,708
負債合計	2,608,972	2,940,088

（単位：千円）

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	156,100	156,100
資本剰余金	146,100	146,100
利益剰余金	2,560,960	2,533,121
自己株式	△34,410	△34,410
株主資本合計	2,828,749	2,800,910
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	57,618	58,181
評価・換算差額等合計	57,618	58,181
純資産合計	2,886,368	2,859,092
負債純資産合計	5,495,341	5,799,181

（2）四半期損益計算書

第1四半期累計期間

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）
売上高	617,361	1,233,133
売上原価	464,186	991,896
売上総利益	153,174	241,237
販売費及び一般管理費	210,224	214,615
営業利益又は営業損失（△）	△57,050	26,621
営業外収益		
仕入割引	906	642
その他	691	501
営業外収益合計	1,598	1,144
営業外費用		
手形売却損	—	143
その他	—	31
営業外費用合計	—	175
経常利益又は経常損失（△）	△55,451	27,589
特別利益		
受取保険金	—	4,387
特別利益合計	—	4,387
特別損失		
固定資産除却損	118	4,209
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	596	—
特別損失合計	714	4,209
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△56,166	27,767
法人税、住民税及び事業税	835	2,426
法人税等調整額	△22,348	9,588
法人税等合計	△21,513	12,015
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△34,652	15,751

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△56,166	27,767
減価償却費	20,283	20,804
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	30
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△17,929	△19,703
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,022	3,043
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△121	3,630
受取利息及び受取配当金	△84	△168
手形売却損	—	143
固定資産除却損	118	4,209
売上債権の増減額 (△は増加)	3,164	△242,470
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△73,263	△118,116
仕入債務の増減額 (△は減少)	7,584	315,714
未払消費税等の増減額 (△は減少)	16,805	12,739
その他	44,290	27,926
小計	△53,296	35,550
利息及び配当金の受取額	84	90
手形売却に伴う支払額	—	△143
法人税等の支払額	△16	△6,611
法人税等の還付額	1,041	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△52,187	28,885
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,900	△2,530
無形固定資産の取得による支出	—	△2,626
投資有価証券の取得による支出	△1,200	△1,200
保険積立金の積立による支出	△5,754	△5,754
貸付金の回収による収入	180	—
その他	△98	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,772	△12,111
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△34,221	△38,802
財務活動によるキャッシュ・フロー	△34,221	△38,802
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△98,180	△22,028
現金及び現金同等物の期首残高	573,586	284,885
現金及び現金同等物の四半期末残高	475,405	262,856

（4）継続企業の前提に関する注記

当第1四半期累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第1四半期累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	生産高（千円）	前年同四半期比（%）
アルファフレーム部門	315,326	103.5
装置部門	668,622	396.3
合計	983,949	207.9

(注) 上記の金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

② 商品仕入実績

当第1四半期累計期間における商品仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	品目	仕入高（千円）	前年同四半期比（%）
商事部門	工業用砥石	42,339	113.6
	機械設備	23,182	1,287.9
	工具・ツール・油脂類	153,164	171.6
合計		218,687	170.4

(注) 上記の金額は、仕入価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

③ 受注実績

当第1四半期累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	受注高（千円）	前年同四半期比（%）	受注残高（千円）	前年同四半期比（%）
アルファフレーム部門	311,676	96.7	37,508	87.7
装置部門	1,621,622	560.8	1,789,667	666.5
商事部門	248,340	137.8	111,577	172.6
合計	2,181,639	275.6	1,938,753	515.8

(注) 上記の金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

④ 販売実績

当第1四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	販売高（千円）	前年同四半期比（%）
アルファフレーム部門	312,260	103.5
装置部門	668,622	396.3
商事部門	252,250	171.6
合計	1,233,133	199.7

(注) 1 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	当1四半期累計期間		
	販売高（千円）	割合（%）	前年同四半期比（%）
株式会社ホンダトレーディング	381,798	31.0	—

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。